

「知床岬赤岩地区羅臼昆布エコツアー」検討部会報告

1. モニターツアーについて

(1) 実施内容 別紙添付写真参照

観光協会員（知床らうすリンクル）が登録ガイド（仮）を随行させ観光協会掌握の元、実施した。

- ・実施日 1回目：8月8日～9日、2回目：8月13日～14日
- ・内容 1回につき2日間のスケジュールでエコツアーを実施した。
○1日目 羅臼ビジターセンター見学、昆布倉庫見学、現代昆布番屋見学
○2日目 長谷川番屋見学
- ・募集方法 観光協会及び事業者HPでの実施告知、メディアへのプレスリリース
- ・参加者数 ○1回目：5名（主催者側 ガイド2名、役場職員、観光協会）
○2回目：9名（主催者側 ガイド3名、役場職員、観光協会、
植生モニタリング調査の現地指導のため林野庁3名）

(2) アンケート・モニタリング結果について（抜粋）

1) アンケート内容

北海道大学（愛甲先生、庄子先生、敷田先生）にご協力いただき、知床羅臼町観光協会が参加者を対象に実施した。

2) アンケート結果 以下抜粋

- ・ツアー参加理由について、全体の4分の1近くが「羅臼昆布の歴史について知りたかった」を選択。
- ・ツアー全体の満足度について、全体の7割が満足と回答（全員がやや満足以上の回答）。
- ・ツアー参加前と参加後の羅臼昆布のイメージについて、参加前後で変化が見られた。特に、参加前は「手間がかかっている」の回答率は29%であったのに対し、参加後は100%となった。
- ・『知床の価値』だと思っている事について、選択式の複数回答式の質問では、参加前後では、選択数が26%増加した。
- ・「知床の価値」について、「自然と共に生きる人々との交流」を選択した回答数が14%から参加後は86%に増加した。
- ・「知床先端部地区で昔から羅臼昆布漁が営まれていたことを知っていたか」については、半数が「知らなかった」と回答。
- ・「ツアーを羅臼昆布漁の歴史・文化を伝えるために実施することについて、どのように考えるか」については、全員が「良いと思う」と回答。
- ・「今後このツアーを継続することについて、どのように考えるか」について、全員が「継続すべき」と回答。

(3) モニタリング結果

1) エコツアー参加者モニタリング

ツアーを掌握する観光協会がツアー参加者の行動を記録し、反省点・所感等を記載し他、参加者の発問数によって関心度を量ったもの。

関心高（参加者の85%以上が発問）：昆布倉庫、昆布番屋、船外機移動、赤岩地区見学

関心中（参加者の60%以上が発問）：羅臼ビジターセンター

関心低（参加者の発言が60%未満）：該当なし

2) 植生モニタリング 別紙

3) トレッカーモニタリング 別紙

(4) 次年度モニターツアー

実施期間 平成 27 年 7 月 14 日 (火) ~8 月 15 日 (土)

※羅臼町自然環境教育主幹 金澤裕司氏に相談し内容の精査・改善をしてゆく。

2. 本エコツアーの「知床岬地区利用規制指導に関する申し合わせ (以下『申し合わせ』)」「知床半島先端部地区利用の心得 (以下『心得』)」との関係についての検討結果

「申し合わせ」については、教育を目的にしたエコツアーの位置づけが明らかになるよう、修文を含めた検討を行うことが適当となった。「心得」については、「申し合わせ」の検討の状況を踏まえつつ、既に現状との乖離等から利用者の指導が困難な場合があることから、本件との関係と合わせて心得の修正を含めた点検を行うことが適当となった。しかし、見直しの必要性や具体的修正案の検討については、本件当部会の検討事項ではないことから、別の枠組みで実施することが適当となった。

3. 今後の部会のあり方についての提案

①平成 26 年度第 2 回適正利用・エコツーリズム検討会議

: 実施部会等への移行についての承認を得る

②平成 27 年度~③まで

: 実施部会等として活動。事務局の判断により必要に応じて招集しモニタリング結果等を報告する。検討会議においても定期報告等を行う。

③平成 28 年度第 2 回適正利用・エコツーリズム検討会議

: 検討部会として、再度ツアーの実施について検討会議に提案する。承認が得られれば条件なしで催行可能となる。その後の部会の取扱いについては、その際に検討する。